

在宅取組型(小学校)



「子ども達の活動意欲を掻き立てるものの根底には、親子のふれあいとそこから得られる心の安定が大切」という想いをもち、家庭教育学級のテーマを新しくし、年間計画の講座内容を意図的・計画的に位置づけられました。前年度踏襲というスタイルを打破し、保護者と学校担当者が、連携し意欲的に家庭教育学級を盛り上げていこうとする姿勢が伝わります。



活動時のお知らせの文書の中に、「ちょっと参考に…この取組を行う際に大切にしたい会話のヒント!!」の記載があります。

- ・オープンエンドの質問をする
- ・相手の話をじっくり聴く
- ・共感を示す
- ・肯定的なフィードバックをする
- ・感謝の気持ちを伝える

保護者が取り掛かりやすいよう、「オープンな対話」と「共感的な聴き方」のヒントが提示されています。文字と言葉で親子がふれあう心温まる取組です。

学 校 名 等	美濃加茂市立下米田小学校
実 施 日 時	令和6年10月21日(月)～10月30日(水)
会 場	各家庭
参 加 人 数	全校児童とその保護者
学習課題(分野)	親と子の心の交換日記(家族の大切さ)
運営者の願い	その日の出来事や心に残ったことを短文で書いて相手に伝えたり、相手からの話題に対して短文を書いて応えたりする活動を通して、互いの興味や関心、出来事を知ると共に、互いの思いや考えに気付くきっかけづくりとする。

学 習 の 内 容

<取組の概要>

コロナ禍が明けたことを一つの機会とし、その間、在宅取組(一家庭一ボランティア)が主であった本校の家庭教育学級の内容を総点検しました。参集型(講話や子育てサロン会)の講座を再開し、実施の順番等も工夫し、新たな一歩を踏み出しました。

今年度、一番大切にしたいと考えたのは、親同士が共につながり、共に学び、楽しく子育てがでできる環境を作り出すことです。10月末に取り組んだ実践は、子ども・保護者の感想から、温かな親子のふれあいが十分に汲み取ることができた充実したものとなりました。

<取組の内容>

親と子の心の交換日記

- ①今日の出来事の中で、心に残ったこと、できたこと、できなかったこと等、家族に伝えたいことを子どもが短い文で書く。枠の中にはその時の気持ちを表す顔文字を描く。
 - ②子どもの書いた文章に対して、大人(おうちの人)が感じたことを短い文章でコメントする。同様に丸の中にはその時の気持ちを表す顔文字を描く。
 - ③次の日は書き始める人が逆になり、大人(おうちの人)が今日の出来事で心に残ったこと、できたこと等、短い文で書く。枠の中にある○の中にはその時の気持ちを表す顔文字を描く。
 - ④それに対して子どもが返事を書き、その時の気持ちを○の中に顔文字で描く。
- ※上記を繰り返す。取組期間は、10日のうち8日分を目標とするが、1日でも2日でも、無理のない中で進めていくことを可とする。

3年生 私とお母さんの交換日記

親と子の心の交換日記

2年生 ばくとお母さんの交換日記

親と子の心の交換日記

取組を通じて、親子で楽しいひと時を過ごすことができました。

<児童・保護者の感想より>

おうちのひとと話して、一番うれしかったこと、心に残ったことは何かな？
全部。いつもは、私の今日あった出来事や気持ちを聞いてもらうことが多いので、お母さんが今の気持ちを話してくれて、うれしかった。(子)

親と子の心の交換日記でお子さんと会話して、どんなことを思いましたか？
普段の会話ではあまり話さないようなこともやりとりでき、嬉しく思いました。日頃親である私の気持ちを伝えることはほとんどなかったかもしれない…との気づきもありました。(母)

おうちのひとと話して、一番うれしかったこと、心に残ったことは何かな？
お母さんにうれしい気持ちや、時にはかなしい気持ちをわかってもらえてうれしい。(子)

親と子の心の交換日記でお子さんと会話して、どんなことを思いましたか？
わが子のちょっと違う一面を見た気がしました。ワクワクしながらやりました。あまり学校生活のことを話してないのかな～。これからはもう少し会話を増やしたいです。(母)

